

平成21年度 第4回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成22年3月17日（水）
午後2時00分～午後4時12分
- 2 開催場所 宇都宮市役所 14A会議室
- 3 出席委員 15名
廣瀬委員長，熊本副委員長，田中委員，石嶋委員，檜山委員，
櫛淵委員，山野井委員，大出委員，塚田委員，青木委員，
岡村委員，柳田委員，石澤委員，磐井委員，真壁委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議 事
 - (1) 報告事項
 - ① 新たな地域教育推進体制について
 - ② 「田原コミュニティプラザ」の位置づけの見直しに伴う河内生涯学習センター（田原館）図書室等の取り扱いについて
 - ③ （仮称）第3図書館の管理運営手法について
 - ④ 小中一貫教育におけるモデル地域学校園用「活動事例プラン集」について
 - ⑤ 宮っ子ステーション事業の実施状況について
 - ⑥ 親学出前講座の実施状況について
 - ⑦ 地域教育力向上フォーラムの実施状況について
 - ⑧ 子ども読書のまち推進事業の実施状況について
 - ⑨ 第2回うつのみや地域教育メッセの結果について
 - ⑩ 平成22年宇都宮市成人式の結果について
 - (2) 協議事項
 - ①平成22年度社会教育の基本方針及び重点施策について
 - ②平成22年度文化行政の基本方針及び重点施策について
 - ③今後の「成人教育」について（第4回）
- 7 その他
- 8 閉会
- 9 発言の要旨

廣瀬委員長

それでは、会議次第に基づき、本日の議事を進めてまいります。

報告事項が10件、協議事項が3件ございます。

説明事項がたくさんありますので、事務局からの説明は簡潔明瞭にまとめるようにお願いします。

まず、報告事項1「新たな地域教育推進体制」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

ありがとうございました。これは、前々回の社会教育委員の会議から、少しずつみなさんに説明してきたことですので、突然の話ではありません。地域教育推進センターができることは、以前から聞いていました。要点は3つあったと思います。地域教育推進センターと言う名前ではなく、人材かがやきセンターという親しみある名前になります。中身は地域教育の推進、しかも、それは本庁の生涯学習課の1グループが所管するという事です。人材かがやきセンターにはセンター長を置かず、独立センターではなく生涯学習課の中の1グループがそこを所管するという事で、本庁機能の中に取り込んだ形で行われるということが2点目です。3点目は、それに伴って中央、東、西、南、北生涯学習センターを、みんなでまちづくり課と共同で運営とするということです。まちづくり機能が一体化され、市民活動センターが併設され、みんなでまちづくり課の職員が配置されます。そういう形になって、中央生涯学習センターにあった統括機能が外れ、それを本庁でまとめて持つということです。それぞれの生涯学習センターを統括していた機能を中央からはずしますので、名前は中央ですが中央地区の生涯学習センターと、大きく性格が変わるものです。以上3点が中心の説明だったと思います。

委員の皆様、ご質問はありませんか。構想のなかばですので分からないこともあります。来年度スタートしてからまた質問を受けながら、皆様にご意見を出していただければよろしいかと思います。この件につきましては了承としまして。次の報告事項に移らせていただきます。

報告事項2についてご説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

はいありがとうございました。要するに生涯学習施設をコミュニティ施設に変えるというだけです。住民には何の変化もありません。どうぞご安心下さい。コミュニティ施設でも生涯学習施設でも内部の問題で市民サービスに直接変わりはない。むしろ使いやすくなっている。みなさんからご意見ございますか。

報告事項3についてご説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

はい。要するに第3図書館を指定管理者にすることだったと。全国どこでも図書館指定管理者化は進んでいると思います。

何か質問はありますか。

指定管理者については県でもほかの市町村でも進んでいますし、指定管理者の予定はあるのでしょうか。指定管理に関する団体はある程度想定していますか。

事務局

第3図書館につきましては図書館業務や、施設の維持管理業務、複合機能の運営部分のいくつかの業者の協力によって成り立つ形だと想定しておりまして、いくつかの業者は特定できるかと思います。

廣瀬委員長

ありがとうございます。予定があるということですね。指定管理に何がこまるかという誰も手を上げなかったのが困る。そういう予定が立たないままに指定管理者を選択するとあとで大変なことになるので見込みは立ったうえでやらないと厳しいと思います。それでは第3図書館の指定管理者の管理・運営方法は指定管理者にすることによってこれでよろしいでしょうか。

次に、報告事項4についてお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

ありがとうございました。みなさんにはこれまで社会教育委員の会議で地域教育という言葉を使って新しくスタートすると、何度か申し上げている。ちょうどこの考えかたに学校が絡まるとこういう風になるのだという意味です。社会教育、生涯学習で考えていることと、学校サイド、学校園構想はぴったり一致する考えだと思います。学校と地域の連携をより一層進める。さまざまな機能を集約化して進めていくという非常にユニークな宇都宮らしい個性のでた学校園ができるのではないのでしょうか。

この件についてご意見、ご感想はありますか。

校長先生は2人とも欠席ですね。直接お聞きしたかったのですが残念です。非常に幸いなことに私が地域協議会の会長をやっている陽東地区もモデルになりまして。学校側も急いで準備を進め、私を含め一生懸命がんばっているところです。なんとかこのコンセプトを生かした学校園作りをしたいと思っています。社会教育委員としてもみなさまに機会がありましたら学校園構想についてご理解いただければと思います。

次に、報告事項5について

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

ありがとうございました。宮っ子ステーション事業について社会教育委員の方々と係わっていらっしゃる方がいると思うのですが、うちではこうやっているという意見があれば。

岡村委員

富士見小学校の取組みの概要を説明したいと思います。富士見小学校宮っ子ステーション放課後子ども教室は毎週金曜日午後3時から5時までで1年生から6年生までに希望を取りまして56名でスタートしたのですが現在は46名になりました。これは夕方5時に家の方が迎えにくるのが入会の条件になっておりますので、入会当時は迎えに来られるという状態だったけれどもその後いろいろな事情で迎えに行けない。ということで一時退会するということでその人数になっております。実際に取り組む段階で人材の確保に大変苦労しました。31自治会の回覧あるいは各種団体に呼びかけて10名の安全管理委員を確保できたので無事スタートできました。実際取り組みまして、子ども達の意見を聞きますと民話、百人一首、習字、将棋などもやりますが、体育館で体を動かすようなドッチボール、ユニホック、3B体操が人気です。冬場には体育館の2面のコートを使いまして、1年2年3年で1面、4年5年6年で1面のコートということでドッチボールをやりました。その時に一番強い学年を決めてほしいという要望がでるものですから結果的に5年生と2年生が決勝戦という時もありました。見ていましたら5年生が2年生にぶつけるときは上からボールを投げないんですね。上から投げちゃだめとは言わなかったのですが、5年生が下からボールを投げて2年生にあてるということで、学年に関係なく遊ぶものですから上級生が下級生をいたわる、あるいは下級生が上級生にしたっていくというのが特徴的に見えました。もう一つは、若いお母さん達が5時に迎えに来るのですが早い人は4時ちょっとぐらいにはもう迎えに来ています。活動アドバイザーがいるので実際にお母さん達に手伝ってもらわないのですが、お母さん達が実際に子どもと遊んでもいいですよ、やってもいいですよという風にしましたら、お母さん同士のお友達関係が非常に広がっていきまして、人によってはあまり友達がいなような人でも放課後子ども教室にお迎えに来ることによって、あるいはその行事に子ども達と参加することによってお母さん同士の交流ができたのが非常に良かったなと思っている印象です。そんな状況になっています。

廣瀬委員長

はい、ありがとうございました。いい話を聞かせていただきました。異年齢交流の効果と大人の繋がりができてきたというご意見ですね。もうひとかたお願いします。

柳田委員

直接私に関ったわけではないですが、コーディネーターの一人が関わっているのでよく言っております。今年の1月から始まりまして、60名弱で始まりまして。続いて入会者数が増えまして現在は100名を越しております。1階に全員というのは難しいということでブロックごと、学年ごとを考えるようになってきました。それで、最初は水曜日の3時からということで始まったわけですが、実際に始めてみるとやはり曜日を固定してしまうと使えない子がでてしましまして、水曜とか金曜とかその都度変えております。まだ始まったばかりなのでなんともいえないのですが活動アドバイザーを養成した人がこの時期勤めてしまうなど、なかなか人材確保の方に苦労しているようなところが見えます。でも、子どもの人数が増えて先ほどもありましたように学年を越えて仲良くできる、また最高学年が4.5年なのでそれぞれのリーダー性も発揮されていることがよく見えるようになりました。以上です。

廣瀬委員長

ありがとうございました。少ない予算にも関わらずこういった教育効果をあげているのはまさに社会教育の特徴ですね。ぜひ今後も協力して発展していければいいと思います。

山野井委員

陽光地区ですが、宮っ子に参加したいけれどお迎えがないので参加できない。と悩んでいる子どももいる。これからの課題ですね。指導者がたくさんいる、ある意味では大人の居場所作りにもなっているのかなとも思っています。それから、安全管理のほとんどが女性ですが高学年の子ども達になると言う事を聞かない。そのために場合によると手をやいている生徒が時々いる。私のところにも孫が2人参加しているものですから、私はだいたい5時に迎えにいきますが、見ているとそんなところがある。指導に私の妻が関わっているので、話をすると、暴れる子どもはいるけれども大きい声で指導したらいいのかどうか、その辺が悩むと話題になる。こんなことが現状です。

廣瀬委員長

ありがとうございました。いずれにしても子どもに対する効果だけではなくて大人にも効果があることは注目すべきところだと思います。魅力ある学校づくり地域協議会が、魅力ある学校づくりだけでなく魅力ある地域づくりになっている。学校園構想も実は同じコンセプト。魅力ある学校づくり、地域がよくなければ学校も子どももよくなれないということでそういうコンセプトがこの事業に詰まっていると思います。では、この報告は了承ということでよろしいでしょうか？それでは、6番目の報告にいきます。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長 はい、ありがとうございました。今年も83件ですね。これは職員が講師で行っているのですか。

事務局 はい、基本は職員ですが、親学習プログラム指導者とか文化団体の方にも行っていただいております。

廣瀬委員長 ありがとうございます。この件数毎年動いていると非常に大変だと思います。

何かご質問ありますか。

非常に反応がいいようです。これも予算をかけずに事業をする、職員がひたすら汗をかくという事業のパターンになっていますね。よろしいですか。ほんとに1年間ご苦労様です。ありがとうございました。

それでは、この件についてはこれで終了したいと思います。

報告事項の7番目

事務局 【資料について説明】

廣瀬委員長 ありがとうございます。社会教育委員の中の皆様でもこの事業に参加された方いらっしゃいませんか。

山野井委員 つい先月、寒い日だったものですからみんなコートを着ながら話し合いをしましたが、大きく10のグループに分かれて1つのグループに中学生、地域の我々、PTAの役員、PTAの方、学校の先生、そんなグループで資料にあるテーマの11番のところで生徒と地域との係わりについて、友達について話し合いをしたのですが、それぞれがそれぞれの立場で話題が出てきて大変良かった。ちょっとグループ内の人数が多かった。もうちょっと少なければ、効果的に話題も深ったのではないだろうか。でも、中学生も臆せずいろいろな言いたいことを言っていて非常に良かったなと思いました。以上です。

廣瀬委員長 他に参加された方いらっしゃいませんか。

よろしいですか。ご質問はありませんか。

私のところも陽東中学校、私の勤務先でやったのですが、非常に参加者も雰囲気がよくてですね。実践の段階で進んでいるといいながらも話し合いをして振り返りながら自分たち大人としての繋がりを作りながらやっけないと前に進まないなと思います。非常にいい事業だと思います。

地域教育力向上フォーラムは色々なところで河内教育事務所の生涯学習課のみなさんも手伝いに来ていただいて非常に効果を上げています。

次は8番目

事務局	【資料について説明】
廣瀬委員長	残念ですね。事業仕分けで廃止になりますが、廃止になるからといって全部の事業がなくなるわけではなく、宇都宮市は図書館が充実していますし、読書の推進計画も立ててあるので、全体的には影響は大きくないと思います。 ご質問・ご意見ありますか。 次は9番目
事務局	【資料について説明】
廣瀬委員長	委員の方で顔を出された方おりませんか。
櫛渕委員	大変よかったですと思います。参加した方たちの交流の場であったのではないかと思います。
廣瀬委員長	そうですね。参加者同士の交流はなかなか機会がない、ああいう場所に出てくると刺激になる。陽東も出したが、来年度たいしたことをしなければならぬプレッシャーがかかった。他の学校のことが分かり非常に参考になったと声がある。
岡村委員	私も1回目の総合文化センターも行って2回目も1日いたのですが、会場は今年のほうが展示しやすくても見やすい、出演団体がお互いに交流するのに去年の総合文化センターよりも場所に恵まれた。青少年指導員も午前、午後にかけて来てくれましたが、非常に他の出展団体との交流ができたと言われた。それが際立った感想です。
廣瀬委員長	まったく私も同感です。非常に会場がよくて、交流しやすい良い会場を確保できたと思います。ありがとうございました。 この件についてはご意見ありますか。 次の10番について
事務局	【資料について説明】
廣瀬委員長	成人式出席された方からご意見を。
櫛渕委員	峰会場に参加しました。終わったあと実施委員会で反省会を持ちますが、毎年お手伝いさんの意見が聞きっぱなしになっている。聞いたことを次年度に必ず実行するなり反省していただきたい。もう一つは、司会者の後ろ

に指導者がついているのでしたら、ご指導が足りないと思いました。それは一つ午前中（宮中）、女子がショールをしたまま式場にいる。式をはじめますとなってもショールはずさない。式最中はショールを取るように司会者に言わせたが、それでもまだざわざわしていてショールを取らない。そういうところを20歳になって自覚をしたと書いてあるのでしたらそれも一つの勉強じゃないかと。厳しいかと思いますが。そんなことも一般の方から聞いておりました。

廣瀬委員長

貴重なご意見。中央の所長コメントありますか。

事務局

貴重なご意見ありがとうございます。実施委員会につきましては各反省を踏まえまして、次回に臨むように私の方で指導していますが、それが徹底してなかったということで申し訳ありませんでした。次回の実施委員会ではそういうことのないように前回の反省を踏まえてしっかりとやるように、司会者の仕事もしっかりとやっていきます。

廣瀬委員長

ありがとうございました。来年気をつけますと、参加者が毎年違うのでなかなかうまくいかないですが、反省は理解していただきたい。その他にありませんか。

石嶋委員

私も毎年若松原中の会場、グランドホテルで出席させていただいております。伝統的に厳粛な成人式を行っているというふうには聞いている。それで、司会者もベテランの司会者が新成人の後ろについてきちっとコントロールしていることが見られる。伝統的にそうしているようです。ニュースになるような話題の提供はなかったようです。

廣瀬委員長

はい、ありがとうございました。そのほかに。

塚田委員

星が丘中、アピアで行われたのですが例年、年によって静かな年とざわつく年とあり、今年は教育長が見えた割にはざわついていたと思います。あと、やはりショールを取らないとか、私語が多いときには注意をすべきだと思う。誰も注意をしない。プラカードを持った人が歩いていたが、はっきり言葉に出して言うべきかなど。成人になってもまずいことはまずいと言ったほうが良いと思います。

廣瀬委員長

ありがとうございました。それでは他には。

真壁委員

今の星が丘の部分の出席率108.4%とありますが100%を超える成人者がいるということはあるですか。

事務局	これは、中学校の卒業生だけを対象にするだけでなく星が丘中学校区に参加したい誰でも該当する。あそこには附属の中学校がございまして、その生徒達の大半が星が丘の成人式に出席しますので、予想よりも出席する人がおりました。
塚田委員	テーブルなど席が決まっていたと思いますが、カバーはできるのでしょうか。
事務局	出席者が多くなった場合、それは星が丘の例ですと多少多くなると予想されていますので、そのへんはある程度加味して余計に席を用意しています。
廣瀬委員長	そのほかございませんか。それまで報告事項1～10までございましたけれども、すべて了承ということでご了解いただけますでしょうか。すべて報告事項は了承いたします。 続いて協議事項1にはいります。
事務局	【資料について説明】
廣瀬委員長	はい、ありがとうございました。基本方針のところでもちづくりを鮮明に出されたものだと思います。重点施策の最初に出てくるように、来年度に向けた新しい企画、人材かがやきセンターができる、われわれに向けて諮問されております内容を来年度、答申しなければならないとなっております。来年度は宿題をやりとげてしまわなければならない。若干、このことで委員のみなさまからご質問・ご意見いただきたい。 特に人材かがやきセンターについてご質問があれば。
櫛渕委員	人材についてですが、地域のまちづくりをするのに各自治会長さんでほとんど今までは構成していました。自治会長さんも今は1年交代でそういう人材は難しい。でなくても退職された方などでスポーツや読書などおのおのの技術を持っている方を各町会からピックアップして作ろうかとなっているくらいですから、まず地域のまちづくりが大切なのではないかと考えます。
廣瀬委員長	ありがとうございます。課長の説明いただいた方針にそったものとなった。そのほかに。
塚田委員	先ほどの方針、まちづくりと一体となったと大きくありますが、狭義に考えた場合、地域まちづくり推進協議会が地域内にありますが、それとの一体化ということでよろしいですか。また、別ものですか。

事務局	<p>まちづくりと一体となったといいますが。現在、周辺11地区センターでは生涯学習機能とまちづくり支援機能を持って地域づくり、地域の人づくり、まちづくりをやっているところ。市街地の中央、東、西、南、北生涯学習センターが所管をしておりましたエリアにつきましては生涯学習機能しかなかった。今回あらたにみんなでまちづくり課から職員をそこに常駐させるということで、生涯学習機能に合わせて今度まちづくり支援機能もそれぞれの生涯学習センターが持つという形でまちなかのほうも周辺部と同じ機能を持つという体制をとった。そういった中でやはりまちづくり、人づくりの両方の視点から地域の課題を発見して対応する、人づくりをしていく。</p>
廣瀬委員長	<p>そのように質問したのではなくて。塚田委員がおっしゃったのは地域にまちづくり協議会がありますよね。そのまちづくり協議会に社会教育がどのように関っていったらいいのかを質問した。その意味で教育委員会の見解を聞きたい。要するに、社会教育とまちづくりの一体化というのは、もっと積極的に関っていったらいいのか、まちづく協議会で学習機会を提供するとか、まちづくり協議会で例えば成人教育に関することを実際の事業としてやっていくのか、とかその繋がりについて聞きたいのでは。そのあたりの見解を教えてください。</p>
事務局	<p>地域におきましてはまちづくり協議会中心でさまざまな事業に取り組んでおりますが、そこに今回まちづくりの支援の職員なども身近に配置されることによりまちづくり協議会と一体となって物事を進めることができる。</p>
廣瀬委員長	<p>まちづくり協議会の事業として例えば成人教育をやっていく、例えば魅力ある学校づくり地域協議会とか宮っ子ステーション事業とか、またそれらを地域の人に周知したり、実際に現場では同じ人間、つまり、まちづくり協議会のメンバーがやっていることが多い。社会教育も全体にまちづくりに貢献する人材を育成するということにシフトしている。それを意味している。ですから、まちづくり協議会というものをもっと積極的に社会教育の担い手として見ていくと言っているのではないかと思います。</p>
	<p>他にご意見は。 方針としてはかなりまちづくりが前面にでた社会教育になって明確な方向になった。</p>
山野井委員	<p>生涯学習関係の体制、組織は6、7年間の中にいたりきたりして変わってきた。地域にとっては非常に迷って、なにがなんだか分からないのが現実。今回非常に整理された。もうこれでいいのかなと思った。同時に学習センターに職員が常駐されるという、私は南生涯ですけど、2人ぐらいプ</p>

	<p>ラスになりますよね。それで同時にそれぞれのコミセンとの連携がはかれるので、非常に1歩も2歩も前進にされたのかなと感じた。今までのコミセンは貸館業務のみだったが、そこにリードをしていただける場面があるのかなと。その地域の問題は相当数の年寄りが重複して関わっていますので、割合にそのような意味では今後の整理された形でいくと歩み方が非常にすっきりするのでは。そんな感じがする。このことについて自治会で説明をした。みんなよろこんでいたのが現実だった。以上です。</p>
廣瀬委員長	<p>所管機関に職員が増えるということは住民にとって市が地域重視の政策に大きく舵をとったということで、住民一人ひとりが大事にされるそういった政策に近づいてきたのだと思いました。</p> <p>異議なしということで決定とします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>
廣瀬委員長	<p>事業もたくさんありますね。文化行政の基本方針及び重点施策についてみなさんからご意見いただきたいのですがいかがでしょうか。</p>
石澤委員	<p>地域差で学生が学校の近くに文化保存のものがあるとその周りの子ども達は接することができますが、他でも参加したいというのもできるといいと思います。地域差で、できる部分とできない部分があるということの差を生徒につけたくないと思います。</p>
廣瀬委員長	<p>宇都宮市内には実は文化財というといくつかの場所がある。それ以外に知られていないものもある。石井町に住んでいますが古墳が3つもある。ですから、地元の文化財を丁寧に調べていくと宇都宮市内には文化財が点在している。丁寧に見ていく作業もしていただければと思います。</p> <p>そのほかにご意見・感想は。</p>
檜山委員	<p>このコンサート関係でジャズに力を入れていくとのことですが、商工会議所もやっていますが連携は考えていますか。</p>
事務局	<p>大きなジャズのイベントですと春の宮G I G、宮ジャズインと秋口のものがある。秋の宮ジャズは商工会議所が中心に事務局が行っている。宮ジャズ推進協という実行委員がございまして商工会議所、文化課、観光交流課など行政も一緒に行っている。</p>
檜山委員	<p>現状のまま進めるということですね。</p>

事務局	<p>宮ジャズの目的は中心部の活性化，観光客の誘致。そういう点からも充実させる。教育委員会からすれば教育普及，人材育成，市民のみなさまに理解していただく趣旨がある。一緒に合わさって充実されるようになる。推進協の中でも今後検討していくものと思っています。</p>
廣瀬委員長	<p>教育委員会の文化行政は基本的に市民に対する普及が一番大きい，もう一つは人材育成。教育委員会は文化を支える人づくりにお金をかけているので，目立つかっこいい部分は商工会議所でやっていただいて，地道に優れた鑑賞者を作るのは大事なので，基盤を作るのは教育委員会でやっていただきたい。ということですね。</p>
田中委員	<p>高校の立場として，日頃の練習成果の発表がありますが，文化会館を高校で借りるのが例年厳しくなっている。本校も毎年吹奏楽が文化会館で発表していたのですが，来年度は借りることができなくて，結果的には総合文化センターを借りざるを得なかった。市内の高校では吹奏楽がかなり盛んですので，優先的な貸館をやっていただくとありがたい。金額的にはそれほど変わらないが，一番の違いは駐車場。ほとんどの高校生を見ますと演奏会には親戚，縁者などかなりの方がいらっしゃるので，文化会館が使い勝手がいいのです。これほどこの高校も一緒。その部分の配慮をお願いします。</p>
廣瀬委員長	<p>今の件，文化課長から回答がなかったですが，ぜひ私からも高校に貸していることはそれだけで人材育成になる。若手のオーディエンスを養成するのにも非常に有効な文化政策として重要なのでご配慮いただきたい。</p>
岡村委員	<p>これは伝統文化の継承・発展させるための関係でのお願いなのですが。実は富士見地区にも子どもおやはし会，大人の太鼓クラブとありまして非常に長い間続いております。最近，子どもに大変人気が出てきて，富士見小学校でも学校行事の一環として太鼓クラブのみなさんの協力を得て太鼓の演奏を学校行事としてやっている状況です，しかし年々子どものメンバーが増えている状況で，太鼓の数が限られているものですから，私が子どもの時は，太鼓が足りないときはタイヤでもたたいていたものですが，今の子どもに太鼓がないのでタイヤでもたたけなんて言いますと，途端にお母さん，お父さんから苦情がきますので非常に苦労しています。ここ数年の傾向として富士見小学校のおはやし太鼓クラブを経験した中学生，高校生，社会人の人が学校や勤めが終わって，いずれも太鼓クラブの練習が夜なものですから，都合をつけて小学生と一緒に太鼓をやる。という縦の関係が際立って出てきています。</p> <p>私も地区の青少年育成会の会長をしているので，伝統文化の継承発展と健</p>

全育成の意味で青少年育成会からわずかな資金援助などもしていますが、なにせ、子どもですから、大人もそうですけど発表機会があると非常に励みになる。富士見のおはやし太鼓クラブは長い歴史があるので、年に何箇所かの演奏を頼まれる機会がある。1度でも2度でも多いほうがやる張り合いがあると思いますので、伝統文化フェスティバルの開催などはぜひ進めていただきたい。

廣瀬委員長 この際ですからみなさんいかがですか。

大出委員 地味な行事で目立たないのですが、宇都宮市の文化協会ではふれあい文化教室というのを実施しています。ほとんどボランティア的に和太鼓、日本舞踊、お琴など伝統文化の出前をやっている。参加校が多く、126回開催していますが、地味な行事も学校から要請があるのでいいことだなど。一般にはあまり知られてないのですが、そのようなボランティア的活動をしているということ。もう一つはエスペール賞についてですが、エスペール賞の設置のときに関係したものですから、このように世界的に活躍する方がうまれたことに非常に感動しております。あの当時はどんなふうになるのだろうと思っていましたが非常に感動している。

廣瀬委員長 文化活動というのは基本的に民間が自分でやっていくのが原則ですし、そのほうが質の維持も出来るし、みんな努力されている。色々なところで情報提供していただければいいなと思います。本来の意味での本当の社会教育活動だと思います。

その他ご意見、情報提供ありますか。

事務局 【資料について説明】

廣瀬委員長 今後の成人教育のあり方について、この次の4月以降の社会教育委員の会議で、こういう方向に進めますとのこと。国際成人力調査の資料を見ますと恐ろしい。私もこんなことできるのかと不安なったりしています。パソコンでイベントのチケットを予約する力とか、食品の成分表を見て許容摂取量を答えるとか、商品の取り扱い説明書を読んで問題が起きたときに解決方法を答えるとか、結構厳しそうです。こういうこともこれから求められるのでしょうか。我々の考えている成人教育の答申とはちょっとおもむきを異にしていると思うのですが、成人に注目されていることがはつきり分かる。今までは子どもをどう良くしようかだったが、子どもだけを教育してもだめだと。大人の方をなんとかしなくてはだめだと国際的な流れで、我々とは方向が多少違いますが大人の方に注目したと言うのはおかしなことではなかった。成人教育の答申イメージとして自由に意見交換をしたいのですがご質問、ご意見ありませんか

山野井委員

現在、PTAの顔が見えにくくなってきていると感じています。現実的にPTAの役員や会合に出てくるのはお母さんがほとんどです。会合では色々な仕事、子どもに係わる仕事ができますが、それが終わればPTAは終わりという格好です。地域の行事、地域の活動にたいして、PTAのお父さんが出てくれれば良いのですが、そういう状況だから出にくい。ある意味で地域活動の中にPTAの活動姿が見えない。

ですから、PTAをターゲットにして、来てもらえるように、一緒になれるようなことも、必要なのかなと考える。

また、PTAの役員と子ども会の役員は別。子ども会の方は子どもが対象になりますから土曜、日曜の活動になる。この活動には出て来られる。子ども会の役員さんとPTAの役員とは離れてしまっていて、PTAと子ども会と地域と別になっているように感じる。比較的子ども会と地域とは連携が取れているような感じがするが、そこでPTAの方にも、もっとはいつてもらうにはどうしたら良いのだろうか。現実に見てみるとバザーやお祭り、体育大会などPTAと地域の行事をそれぞれで別に行っている。PTAの地区の球技大会にはお父さんは一生懸命出てくれるが地域のものになると一度PTAの方にでていたので、もう出ない。PTAと地域との連携ができないものかなと、いつも頭に残っている。

廣瀬委員長

その他にありませんか。

塚田委員

キャッチフレーズでちょっと気になったところがあるのですが、“イキな”という言葉がありますが、これはどのように使っているのですか。意味はありますか。

廣瀬委員長

“イキな”の補足説明はありますか。

事務局

アンケート結果にも、自分ではモラルを守っていると思っていながら、他の人にはモラル向上の講座を受けてもらいたい、しかし自分では受けない。そういった結果もございました。また、みなさんにグループ協議していただいたⅡの部分ですが、そこでも社会性や協調性に欠ける、モラルの低下が問題になっている。それを、成人に対するアプローチの一つとして、強要するのではなく自ら変わっていただけるような、そういうふうなPRしていくために具体的方策のところを書いた。学ぶことやマナーを守って生活することが誇りに思えるような、今、宇都宮市も宇都宮プライドということで自分たちの町、自分自身にも誇りをもって生きられるようなイメージを大事にしているのかと思います。そういったことも含めまして“イキな”と付けることでそういうマナーも守っていることが、かっこいいようにイメージできないかということをつけてみました。みなさんのご意見い

ただきたいと思います。

廣瀬委員長

“イキな”にはそういう意味がこめられているということでした。
他にはありますか。

田中委員

今後の成人教育の事業展開のところがありますが、その中に人材かがやきセンターの設置が遠慮して書いてあるような気がします。今日の報告事項でお聞きしても宇都宮市の生涯学習の拠点として、この人材かがやきセンターはかなり推進していると思うのですが、そういった場合には、頭出しでこれがきてもいいのかなと思います。そこから色々な学習とか、参加を募るとかできますので、キャッチフレーズに繋がるならばこれを特出しにした方が良いのではないかと思います。

廣瀬委員長

貴重なご意見ありがとうございました。その他ご意見ありますか。
今日ですべて決めるのではなくて、こういう方向で行ってよろしいかということ。文言も案でございますので4月以降もこの内容を検討するというので理解していただきたい。これも頭出し、こういう案で事務局はおりますよということ。
他にご意見はありますか。
なければ、この件に関して了承と進めてまいります。その他に事務局の方から連絡ありますか。

事務局

最後に、その他でございます。宮っ子データブックでございますが、今回初めて宇都宮市教育委員会で作らせていただきました。宇都宮市教育委員会も現在さまざまな教育改革、取り組みを行っておりまして、それをコンパクトにして、情報発信してみなさまに知ってもらう運動ということで進めております。その一環として作成させていただきました。16面で作られていますが、教育委員会として特に強調した取組、地域教育、読書活動とか全部は入っていませんが、データブックにつきましては教育委員会の関係施設だけでなく、さまざまな施設に備えて、市民のみなさまの興味があるかたに取っていただく形で考えています。その他、教育委員会には審議会や懇談会がありますので、そういった機会を捉えて委員のみなさまに配っています。

廣瀬委員長

ありがとうございました。ほかにありますか。
それでは、以上で本日の会議を終了させていただきます。活発なご意見をいただき、誠にありがとうございました。